

主演:藤吉夏鈴(櫻坂46)×監督:小林啓一『恋は光』



櫻坂46の藤吉夏鈴が映画初出演にして主演に大抜擢。新聞部の新米記者を真っすぐに演じる。破天荒な新聞部の部長には高石あかり、副部長を中井友望。新聞部と対立する文芸部の部長には久間田琳加、副部長を外原寧々、そして元文芸部員を綱啓永が演じる。日本映画界の明日を担うフレッシュなキャストたちが瑞々しく躍動するだけでなく、高嶋政宏、石倉三郎らベテランも脇を固め、社会で生きる私たちに“善悪”や“正義”とは何かを問いかける、痛快な“社会派”青春エンターテインメントが誕生した。

『殺さない彼と死なない彼女』(19)、『恋は光』(22)など青春映画を得意とし、高い評価を得ている小林啓一が監督、『辻占恋慕』(22)の大野大輔が脚本として参加し作品に厚みを持たせている。

～本企画の成り立ち～

当時、日本大学藝術学部・映画学科に在籍中だった宮川彰太郎が授業の課題で書いた、母校の不祥事に端を発した熱量溢れる原案がプロデューサーたちの心を動かし、まさかの映画化!

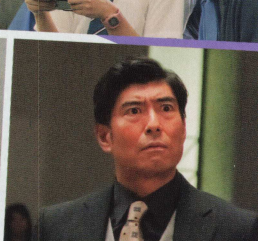
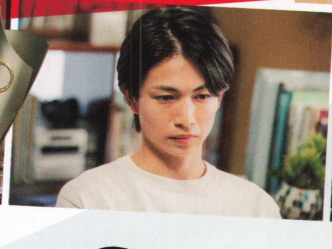
社会のはしっこから  
 闇を暴き出せ!

## 傲慢な大人に一泡吹かせる! 高校生たちの、華麗なるジャイアントキリング!?

文学少女の所結衣(藤吉夏鈴)は憧れの作家“緑町このは”が在籍するといわれている名門・私立櫻葉学園高校に入学。しかし、文芸コンクールを連覇するエリート集団の文芸部には入ることができなかった。落ち込む結衣に文芸部の部長・西園寺茉莉(久間田琳加)が、正体不明の作家“このは”を見つけ出せば入部を許可するという条件を提示。結衣は、“このは”のインタビュー実績がある学園非公認の新聞部に潜入し、部長のかさね(高石あかり)と副部長の春菜(中井友望)のもとで新米記者“トロッコ”として活動することになる。教師たちの不祥事に切り込む新聞部を快く思わない学園の理事長・沼原(高嶋政宏)に理不尽な圧力をかけられ、新聞部は窮地に立たされてしまう。しかし、結衣は一念発起し元文芸部の松山秋(綱啓永)らと協力して理事長、そして学園の闇に切り込んでいくのだった。

### トロッコとは

新聞業界用語で「新人記者」のこと。「まだ記者(汽車)として一人前でない→トロッコ」といった冷やかしの意味合いがある。現在ではほとんど使われていない。



8.9fri.

テアトル新宿 グランドシネマサンシャイン 池袋

ヒューマンラストシネマ渋谷 UPLINK吉祥寺

立川シネマシティ ほか全国ロードショー!



飽くなき探究心が、世界を変える。

# 新米記者 トロツ子

私がやらねば誰がやる!

藤吉夏鈴 (櫻坂46)  
高石あかり 久間田琳加 中井友望 網啓永  
外原寧々 ゆうたろう 八木響生 笥美和子  
石倉三郎 / 高嶋政宏

監督:小林啓一 | 脚本:大野大輔 | 原案:宮川彰太郎  
音楽:主題歌:クレナズム「リベリオン」(MMM RECORDS / RED)  
エンタテインメントプロデューサー:佐藤現 | プロデューサー:久保和明 浅木大 松嶋翔 | 企画:直井卓俊 | 撮影:照明:野村昌平 | 録音:日高成章 | 美術:竹柳翔子 | 編集:田村宗大  
VFXスーパーバイザー:桑本舜一 | スタイリスト:阿部公美 | ヘアメイク:夏海 | サウンドデザイン:山本タカアキ | スチール:柴崎まどか | 特別協力:東日印刷株式会社  
制作プロダクション:レオーネ | 製作幹事:東映ビデオ | 配給・宣伝:東映ビデオ / SPOTTED PRODUCTIONS カラー | ビスタサイズ | 5.1ch | 98min

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 ©2024「新米記者トロツ子」私がやらねば誰がやる!製作委員会



高校生たちが学園の闇に迫る、痛快青春エンターテインメント!